

令和7年度 事業報告

I シルバー人材センター事業

1 事業の概要

令和7年度も世界的な気候変動の影響からか日本でも記録的な高温となった地域が多く岩見沢市も最高気温30℃以上の真夏日が15日、35℃以上の猛暑日も2日記録されるなど、屋外の作業は体に負担がかかる状況が続き会員の皆さんも大変ご苦勞された年でした。

一方、冬期間は記録的な少雪に伴い除雪作業の激減や冬囲い外しの問い合わせが前倒して多くあった年でありました。

また、気候以外では特に近年多くなった熊出没情報で作業にも注意を払う必要がでるなど例年にない状況でもありました。

運営体制では、インボイス制度によってセンターが負担する新たな財源対策について、引き続き会員の皆さんのご理解により配分金単価を減額させていただき、併せてセンター運営経費の節減を組み合わせた取り組みを行いました。

2年度目となる「第3次中期計画」に掲げた会員数、就業率、契約金額等の目標値は会員、役職員の協力により概ね達成できました。シルバー事業を継続・発展させるために欠かせない会員数については、若干目標に届きませんでした。前年度から4人減の425人となりました。女性会員の増加や構成比率33.9%と年々上昇しているのは「女性部会（プラチナ会）」が行う普及啓発活動が功を奏しています。

しかしながら、新入会者総数46人（男性23人、女性23人）の平均年齢は72.6歳と高齢化が進んでいます。この傾向は企業の定年延長等の雇用環境の変化も影響し、今後も続くことが想定できることから高齢でも就業できる機会の拡大に取り組む必要があります。

受注金額の総額は1億6,900万円と対前年比3.6%の増加となりました。

内訳は請負事業で概ね前年度並みであったものの派遣事業で550万円、15.6%の増となり、主な要因として新規派遣先が6か所、契約終了が5か所であったこと。また、継続の2か所で派遣人数が増となったことによるものです。

ア. 会員登録状況

項目	令和7年度	令和6年度	増減値	増減率(%)
登録会員数(人)	425	429	△4	△0.9
粗入会率(%)	1.3	1.3	0.0	
就業率(%)	75.5	75.8	△0.3	

イ. 事業実績

項目	令和7年度	令和6年度	増減値	増減率(%)	
受注件数(件)	請負	2,603	2,734	△131	△4.8
	派遣	52	46	6	13.0
	合計	2,655	2,780	△125	△4.5
就業延人員(人日)	請負	23,378	23,595	△217	△0.9
	派遣	5,853	5,363	490	9.1
	合計	29,231	28,958	273	0.9
受注金額(千円)	請負	128,875	128,523	352	0.3
	派遣	40,585	35,106	5,479	15.6
	合計	169,460	163,629	5,831	3.6
受注金額のうち事務費・分配金(千円)	請負	21,234	20,365	869	4.3
	派遣	5,257	4,804	453	9.4
	合計	26,491	25,169	1,322	5.3

2 事業運営の状況

(1) 会員の入会促進

街頭放送、市広報、新聞折込やタウン誌への広告掲載を行いました。

毎月2回、ワークプラザで入会説明会を開催、年間97人の参加者に説明しました。

また、毎月の説明会とは別にイベントを交えた女性限定説明会を開催しました。

役職員を3班に分け大手スーパー等の前においてPRチラシの配布を行いました。

さらに、「女性部会（プラチナ会）」が中心となって「お休み処 すたあ☆ばあ」で普及啓発活動を行いました。

(2) 普及啓発

「第6回いきいきシルバー感謝まつり」をセンター事務所前で開催しました。役員、会員、事務局職員で構成する実行委員が出店等の構想から準備、当日の運営を行いました。天候にも恵まれ360人の来場をいただき盛会裏のうちに普及啓発活動を終わりました。

また、役職員を3班に分け大手スーパー等の前において会員の入会促進と同時にPRチラシの配布を行いました。

(3) 就業機会の拡大

新たな会員の就業参加を促すため、例年の「耕運機」、「草刈機械」、「剪定」、「冬囲い」講習会を実施しました。

女性会員の就業機会拡大のため、福祉・家事援助サービスの検討を行いました。

(4) 安全就業の確保

就業中の事故が前年度と同数の12件発生しました。傷害事故8件、物損事故4件となり、傷害事故8件中6件がハチ刺され、虫刺されによるもので、就業前にできる限りの注意をしながら作業に取りかかってほしいと思います。物損事故は4件とも草刈りで確認不足など全て不注意による事故で防げるものでした。同様の事故が無いよう慎重な作業に心がけるように指導しました。

(5) 適正就業の推進

指定業務への継続就業期限を迎える会員の後任者について、公募のうえ3月に面接を行い、14人を選考して4月以降新たに就業してもらうこととしました。

(6) 指定管理者受託施設の運営

緑が丘霊園ほか12墓地の管理については、緑が丘霊園及び利根別墓地に管理事務所を設置し会員が常駐することで使用者の利便性を図りながら草刈り等の維持管理に努めました。その他の墓地については職員による定時巡回を行うとともに、会員がお盆前に草刈りを行うなど適切に維持管理を行いました。

また、岩見沢市ワークプラザは施設利用者の回復が思うように進まず、貸室収入が予算を大幅に下回る状況で大変厳しい運営を強いられています。

3 独自事業の実施

(1) 補習教室

受講生の人数は一番多かった時で、中学生は1年生3名、2年生7名、3年生9名の計19名で数学と英語の講座を各学年でそれぞれ週1回ずつ実施しました。

小学生は3年生7名、5年生7名の計14名を2クラスに分けて国語と算数を中心に週に2回ずつ実施しました。前年度の合計と比較すると中学生は前年同数、小学生で4名増加しました。

4 第3次中期計画の推進

計画2年度目の状況は、概ね目標値を達成しました。

	会員数	粗入会率	就業実人員	就業率	契約金額
目標値	431人	1.3%	318人	74.0%	1億6,300万円
実績	425人	1.3%	321人	75.5%	1億6,900万円

5 事故発生状況

区分	件数	発生日	事故の状況
傷害事故	1	5月16日	午後3時頃、緑が丘霊園で草刈作業中、バランスを崩して転倒し右大腿骨を骨折した。
	2	5月19日	午前8時30分頃、トラックに耕運機を積み込み作業中、ブリッジがトラック荷台から外れ耕運機が傾き耕運機のハンドルで右脇腹を痛打し肋骨を骨折した。
	3	7月15日	午前8時30分頃、宅地の草刈作業中に草むらに隠れていたハチの巣に気付かず、刈払機の刃をハチの巣の近くに接触させ右手1か所刺された。
	4	7月15日	午前9時30分頃、住宅の剪定作業中に庭木に隠れていたハチの巣に気付かず作業し、左まぶた1か所刺された。
	5	7月17日	午後(推定)、住宅の剪定作業を終え帰宅して虫刺されと気づき、かゆみが増し受診した。
	6	7月23日	午前11時頃、住宅の剪定作業中に庭木に隠れていたハチの巣に気付かず作業し、右手1か所刺された。
	7	9月9日	午後1時30分頃、住宅の剪定作業中に庭木に隠れていたスズメバチの巣に気付かず作業し、右手1か所刺された。
	8	9月30日	午前10時頃、住宅の剪定作業中に庭木に隠れていたハチの巣に気付かず作業し、右手1か所刺された。
物損事故	1	9月4日	午前8時30分頃、空地の草刈作業中、飛石により隣接する敷地内に駐車中の車のリアガラスを破損させた。
	2	9月11日	午前11時30分頃、施設の草刈作業中、飛石により敷地内に駐車中の車の左フロントドアを破損させた。
	3	9月24日	午後0時50分から2時50分頃、住宅の草刈作業中、草で覆われた灯油配管に気づかず草刈機の刃先を接触させ灯油管を損傷させた。
	4	10月23日	午後3時30分頃、宅地の草刈作業中、飛石により敷地脇に駐車中の車の右フロントドアガラス及び住宅の窓ガラスを破損させた。